

九州工業大学 オープンキャンパスが行われました！

明専会 広報部会

工学部

2018年8月3日(金)と4日

(土)に九州工業大学戸畑キャンパスでオープンキャンパスが行われました。気温が30℃を超える中で、3、298名の高校生らが来てくれました。学科ツアー、女子カフェ、個別相談コーナー、女子高校生保護者向けコーナーなど設けられ、多くの高校生や父兄の方々にぎわっておりました。今回は、特に学科ごとに85テーパー以上の展示や体験実験、体験授業



入口の様子

など、展示に工夫がなされていました。ここで簡単に学科ごとの様子を概説したいと思います。

●建設社会工学科

「強く美しく豊かな明日の都市デザイン」を統一テーマとして、構造工学研究室では「橋を守る技術」、水環境工学研究室では「魚の特性からみる河川環境」、コンクリート研究室では「史上最速!? 5分で固まるジェットセメント!!」、交通工学研究室では「住みやすいまちをつくる」高齢者の目線で考えるバリアフリー、GISで考える土地利用、地盤工学研究室では「暮らしを支える土台づくり」、建築環境・計画・構造・デザイン研究室では「折り紙で作ろう世界遺産」、環境デザイン研究室では「人と緑を豊かにする環境デザイン」について、社会や実生活と関連付けながら展示を実施しました。大学院生や学部4年生が、高校生と保護者に理解してもらえらるよう、研究内容をわかりやすく、一

生懸命に説明している姿が印象的でした。

●機械知能工学科

大学生総出の雰囲気、担当の実験をそれぞれの研究室で行っていました。学生たちは活気があり、フレンドリーな雰囲気が伝わってきました。実習や実験に関連する機械や、測定装置をうまく展示しており、高度な研究の雰囲気が伝わってきました。特に、研究室ごとの独自性や、学科の研究内容の幅広さを伝えるために、いろいろなデモや体験が行えるように工夫されているようでした。



体験実験 (機械知能)

●宇宙システム工学科

宇宙システム工学科は今年度から

スタートした学科です。展示会場には「宇宙」を感じさせる有翼ロボット実験機や人工衛星が展示されていて、来場者の目を引いていました。有翼ロボット実験機は、実際に打ち上げた機体と実験の様子を記録した映像を見せながら、また衛星開発プロジェクトでは自分たちで開発した人工衛星の模型を見せながら、研究開発にかかわった学生たちが楽しく説明しているのが印象的でした。これらの展示のまわりには宇宙に関連した様々な研究を行っている各研究室の展示ブースが並んでいて、なかなか現実のものとして来場者が想



研究室ブース (宇宙システム工学科)



学科紹介（電気電子）

像しにくい「宇宙」を分かりやすく説明していて、高校生たちが熱心に聞き入っていました。

●電気電子工学科

MILAISの半分のスペースを使って学科紹介を行い、残り半分とインタラクティブ教育棟1Fを使って、16個の研究紹介ブースが設けられていて、広いスペースに複数の研究室が配置されているので、賑やかで目を引くような感じでした。そこでは、電気エネルギーの発生・制御・応用、雷、超電導、磁気応用、電子顕微鏡センサ、音響、ネットワーク、人工知能などが実際の研究設備を持ち込んで、教員や研究室学生から熱心に

説明されていました。持ち込めない大型の研究設備（電波無響室、プログラミング室、レーザー、ダイヤモンド、電気エネルギー装置）は、別の建屋の5か所の実験室で、実物を見せながらわかりやすく研究紹介され、高校生のみならず父兄の関心も集めていました。



ブース紹介（電気電子）

●応用化学科

化学の面白さを体験してもらえようように、様々な体験実験やデモ等のコーナーを設けていました。内容は、光エネルギーによる水素の製造や、燃料電池、DNAや細胞などのバイオ・医療のデモや体験実験コーナーなどです。また、大学の授業を経験



ラボツアー（応用化学）



大学の体験授業（応用化学）

する模擬授業や、大学の研究室を見学してみようといったラボツアーが行われていました。高校生を中心に、様々な体験に興味深く参加していました。

●マテリアル工学科

入口に様々な金属製品が展示されていました。電子顕微鏡の見学、スポット溶接機での溶接デモ、CADを使った応力解析などの体験がありました。ZnO以外の色々な結晶構造や、鉄の変態の様子、Crystal Makerによる誕生石の結晶構造の投影などを見て、盛り上がっていました。学科の特徴を具体的に示し、それに沿って各種のデモや体験ができるような仕掛けになっており、すべてのデモや体験で、社会や実生活との関連がわかるように工夫されていました。

●女子カフェ

各学科の女子学生が高校生の相談にのっていました。2日間で51名の女子高校生の参加がありました。主に高校1、2年の女子高校生が、大学受験のことやキャンパスライフ、就職について、大学院のことについて、様々な質問をしていました。本学の学生たちも、自分たちの経験を

もとに、懇切丁寧に質問に答えていました。学生達も和やかな雰囲気でした。



女子カフェ

工学部ではスタンプラリーも開催され、3つのスタンプとアンケートを提出すると記念品がもらえるイベントもやっています。学生達もスタンプラリーを楽しんでいたようで、暑さの中、オープンキャンパスは大盛況に終わりました。



スタンプラリーの景品

情報工学部

平成30年7月14日（土曜）と15日（日曜）に九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）において、平成30年度オープンキャンパスが開催されました。当日は、キャンパス最寄り駅である新飯塚駅から大学構内まで無料バスが運行され、多くの高校生を含む来場者が訪れました。2日間で、1970人（うち、高校生が1145人）で、昨年度よりも多くの訪問がありました（昨年度は1856人）。



公開講義の様子

平成31年度入試から、AO入試が始まります。オープンキャンパスの企画の一つとして、AO入試の解説とグループワークも実施されました。AO入試への高校生の関心は高いようで、多くの高校生、保護者、学校関係者が参加し、AO入試の概要説明、実際のAO入試を模擬した体験ができる機会となりました。



AO入試デモ体験の様子

子高校生がほぼ途切れることなく相談に来ていました。



女子学生相談コーナー「女子カフェ」の様子

参加者からのアンケートでは、「施設や設備が充実していて、研究内容も面白そう。実際に体験してみたらに興味が湧いた。」「学生が生き生きとしていて楽しそうだった。とても親切だった。」「大学の雰囲気がとても明るく、早く大学に行きたい。」などの感想が寄せられました。

また、「女子カフェ」という女子学生相談コーナーが設けられました。これは、女子高校生を対象とした進路相談コーナーで、情報工学部の女子学生が対応しています。多くの女

本記事を作成するにあたり、情報をご提供いただいた各キャンパスの関係の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。